

< アンケート調査を終わって >

佐倉市では過去、志津地区において今回と同じような方法により2カ所歩道整備を実施している。利用者の評判は工事後実施したアンケート結果からおおむね良好であった。

今回初めて佐倉地区において歩道のフラット化及び着色工事を実施した。工事が終わり、4ヶ月経過したことから利用者の意見を伺った。

アンケートに協力いただいた199名のうち、105名の方が60歳以上と全体の5割以上を占め、ここにも高齢化社会の到来の一環がうかがえる。

・**工事後の印象**は歩き易い、走り易いとの回答が多数占め、志津地区と同様好評であることがわかる。

・**着色については**「歩道の区分が分かり易い」との回答が利用形態にかかわらず、大多数を占めた。

・**着色した色についての**質問では、志津地区と同様、茶色が好まれていることがわかる。なお、少数意見であったが茶色は夜間見づらいため、反射材等を混ぜ、夜間でもわかるようにした方がよいとの意見があった。

・**徒歩利用者**に安心度に関する質問では、「色で区分されているので安心」とした回答が4割弱、反対に「車が怖い」、「一段高い方が安心」と不安がる回答が5割強となっている。この傾向は志津地区の工事終了直後のアンケートでも見られ、安心と不安の割合がほぼ同じだった。時間が経過した志津地区の3回目のアンケートでは7割の人が「安心」と回答している。このことから佐倉地区も時間が経過するとともに、安心度は向上するものと思われる。

・**違法駐車**の抑止には、志津地区同様、着色してもあまり効果がないようである。

・**自転車・オートバイ利用者**にとっては、通行性、安全性が向上し、着色効果が発揮されていることがわかる。

・**自動車利用者**にとっては、走り易くなった反面、歩行者に注意を払いながら運転していることがうかがえる。

また、駐車については気をつかいながらも着色部分に駐車してしまう傾向が見える。

全体として、志津地区と同様な結果となったが、工事終了間もないため、利用形態にかかわらず、フラット化に対して、安全面の不安を訴える割合が今年6月に行った志津地区の3回目のアンケート調査より、高い傾向にあった。